

大空町の財政健全化判断比率（平成20年度）について

地方自治体の財政問題がクローズアップされるようになった昨今、国は地方自治体が財政破たんにも陥ることを予防するため、財政の健全化に関する法律を成立させました。

この法律では、毎年度、赤字の割合や借金の状況などを全国統一的な指標として算定し、その指標を監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し、公表することを義務付けています。

算定の結果、平成20年度決算に基づく大空町の指標は次のとおりです。

大空町 (対象となる会計の範囲)				
一 般 会 計	老介国 保護保 会会会 計計計	個下簡 排水水 会会会 計計計	(例)一 部事 務組 合 (例)第 3セ ク タ ー 等	(例)第 3セ ク タ ー 等
実質赤 字比率				
連結実質赤字比率				
実質公債費比率				
将来負担比率				
		資金不 足比率		

大空町の 算定結果

	財政健全度		
	健全段階	早期健全化段階	財政再生段階
	報指 開標 示整 の備 徹と 底情	政努自 健力主 全に的 化よな る改 財善	生よ国 る等 確の 実関 な与 再に
健全 ←	→ 悪化		
赤字なし	健全段階	14.91%以上	20.00%以上
赤字なし	健全段階	19.91%以上	40.00%以上
23.4%	健全段階	25.00%以上	35.00%以上
117.3%	健全段階	350.00%以上	-
不足なし	健全段階	20.00%以上	-

財政健全化判断比率算定結果の解説

実質赤字比率

その年度の一般会計の赤字の額が、その自治体の標準財政規模（ ）に対してどれだけあったかを比率であらわします。

大空町一般会計は、歳出より歳入の方が多く黒字であったため、該当がありません。

実質公債費比率

その年度の歳入のうち借金返済に充てた額が標準財政規模（ ）に対してどれだけあったかを比率であらわします。大空町の算定結果は次表のとおりとなりました。平成19年度決算時から**0.9ポイント改善したことになりました**。

全道平均と比較すると「高い」と言わざるを得ませんが、今後も着実に改善していくと見込んでおり、**平成24年度決算で18%未満にすることを当面の目標としております**。数値を下げることでばかりにとられるのではなく、「必要な投資」「身の丈に合った投資」をしっかりと見極めて取り組むことが大事であると考えています。

H20決算	H19決算	比較	全道平均
23.4%	24.3%	0.9%	13.5%

資金不足比率

区分上公営企業に区分される簡易水道事業・下水道事業・個別排水処理事業の各特別会計の赤字の額が使用料収入などの営業収益に対してどれだけあったかを比率であらわします。

大空町は3事業会計とも黒字となっておりますので、該当がありません。

連結実質赤字比率

の実質赤字比率と同じく赤字の比率なのですが、この指標は一般会計のほか国民健康保険事業特別会計など本町が設置している会計全てが対象となります。

大空町は全会計が黒字であったため、該当がありません。

将来負担比率

町債などの借金の残高や職員全員が自己都合退職した場合の退職金の見込み額など将来負担する可能性がある額が標準財政規模（ ）に対してどれだけあるかを指標化したものです。大空町の算定結果は次表のとおりとなりました。平成19年度決算と比較すると**25.5ポイント改善したことになりました**。高金利の借金を繰り上げて返済したことや、職員数を減らしていることなどにより将来の負担として計算される額が減りました。

町債の残高は、平成18年3月の合併時と平成20年度末を比較すると、合併後の**3年間で21億7千万円減少しています**。

H20決算	H19決算	比較	全道平均
117.3%	142.8%	25.5%	132.4%

標準財政規模

町税や地方交付税などその年度に標準的に収入されるであろうと思われる額です。大空町の平成20年度一般会計歳入総額は76億円ですが、標準財政規模は、51億円です。国や道からの補助金や使用料、手数料などは、財政規模には含まれないので、歳入総額よりも小さな規模になります。